



シュンデンタルタイムズ 12

2021

今月の特集

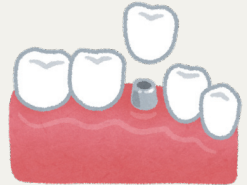
インプラントガイドシステム

今回は「インプラントガイドシステム」についてお話したいと思います。

皆さんはインプラントと聞くと、どのようなイメージをお持ちになりますか？

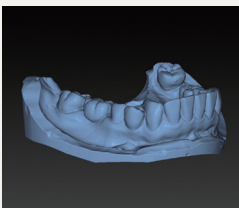
「費用が高い・怖い・手術・難易度が高い」などなど、色々ネガティブなイメージを持つ方もいらっしゃるかと思います。

最近までのインプラント手術は、限られた歯科医師によって、経験と勘を頼りに行われた治療法だった為、競争も少なく技術料が高価でした。勿論、知識や経験は其々ですから痛ましい事故をよく耳にすることもありました。

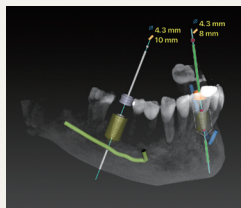


進歩した技術

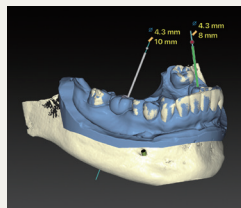
近年、インプラント治療における大きな変革の一つとして「インプラントガイドシステム」があります。一昔前はレントゲン(二次元)写真から得られた情報を基に診査・診断を行い、手術を行っておりました。しかし昨今の**歯科用CT**※注1の普及により、**三次元的な診査・診断が可能**となりました。専用のソフトを用いてコンピュータ上でインプラント手術の**シミュレーション**※注2、注3を行い、“骨・神経・血管の位置・方向・深さ”などを三次元的に確認し、手術時に「**サージカルガイド**」※注4という手術器具を3Dプリンターで作成し、そのサージカルガイドを用いて手術を行うことで、計画通りの位置にインプラントを挿入することができ、以前よりも格段に安全な手術を行うことが可能となりました。



※注1 歯科用CT



※注2 インプラントシミュレーション



※注3 インプラントシミュレーション



※注4 サージカルガイド

私が所属する岩手医科大学でも授業のカリキュラムにインプラント学が導入され、むし歯や入れ歯の講義と同様にインプラント治療の講義があり、一般的な治療法として考えられ、多くの歯科医師が導入できる技術となりました。

当院のインプラント治療

現在、シュンデンタルクリニックでは2台の歯科用CTと2種類のインプラントガイドシステムを導入し、患者様のお口の状態や費用面を考慮したインプラント治療を行っております。

以前より身近になったインプラント治療ですが、やはり手術は手術。

万全の準備を行う必要があり、勿論100%成功するという治療方法ではございません。

また、シュンデンタルクリニックでは手術に対し恐怖感のある患者様に対し、静脈内鎮静法という眠った状態(リラックスした状態)で手術を行う方法も可能です。

インプラント治療は昨今の医療技術先進により、身近になった治療法であることには間違いありません。

歯を失った際の治療の選択肢として、**安全に進化した**インプラント治療を検討してみてもいかがでしょうか。

スペシャル付録



秋めいてきました！シュンデンタルクリニックの紅葉も見頃でしたが、SDT12月号発行の頃は雪がチラホラでしょうか？



院内増築のため、患者様にはご迷惑おかけしております！

P2 OPEN!

Dr.Shun's Tweet.



シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>